

No.	012	—	2002	事務事業名	中小企業経営支援事業	細事務事業名	中小企業金融制度資金利子補給金事務	公的関与	9				
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	16年度～	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 商業の振興		主要施策	(2) 商業機能の強化				
	事業の対象	市内中小企業者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市内において中小企業を営んでいる個人及び法人に対し、資金の融資を円滑にするために利子補給を行なうことにより、その経営の安定を図り、中小企業の振興を図ります。			今年度	市内中小企業者が事業資金を借り入れした時の金利負担を軽減し、企業経営の安定を図ります。						
	活動内容	①	政府系金融機関から融資を受けた資金(1企業1,000万円上限)に係る支払利子額の20%を補給(3年以上)			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
		利子補給件数		資金需要度		件	目標 140	100	100	100			
					実績 144	95							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,778千円	1,653千円	2,276千円								
	計(A)	1,778千円	1,653千円	2,276千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.097人	731千円	0.089人	537千円	0.089人	538千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		2,509千円	2,190千円	2,814千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現下の厳しい経済状況により、急激に中小企業の資金需要が高まっており、経営体質や経営基盤の強化、安定を図るため、円滑に必要な資金の融通を行う必要があります。												
有効性	中小企業の資金の融通を円滑に行うことにより、経営体質や経営基盤の強化、安定を図ることができます。												
達成度	市商工会を通じて申請のあった中小企業に対して、条件を満たしている企業には全て支給しています。												
効率性	毎年1月31日までに、各中小企業からの申請書類を市商工会を経由して、一括して市に提出があります。												
当面の課題	市への提出締め切りを1月31日までとしています。中小企業からの申請が遅れたり、申請数が多いため、東温市商工会の事務処理に時間がかかり、提出が年度末ぎりぎりとなっています。												
改 革 画	市商工会との連絡調整を図り、補助金の支給が遅滞なくできるようにします。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	今後、商工会との連絡を密にとり、スムーズな事務処理ができるよう努めてください。												

No.	012	—	2003	事務事業名	観光振興事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	16年度	～	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	県内外観光客				根拠法令							
	事業の目的	最終的	観光情報の発信、問い合わせ対応等により、観光客誘致、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図ります。				今年度						
	活動内容	①	市内観光情報の発信				④	各種観光イベントの支援					
		②	観光情報の問い合わせ対応				⑤	坊っちゃん劇場等の民間施設や公共観光施設の支援					
		③	観光関係の各種調査事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
		観光入込み客数		観光客数			千人	目標	1,230	1,240	1,240	1,300	
						実績	1,227	1,221					
坊っちゃん劇場入場者数		年間入場者数			千人	目標	100	100	100	100			
						実績	69	80					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	7千円	122千円	42千円								
	計(A)	7千円	122千円	42千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.519人	3,912千円	0.496人	2,995千円	0.496人	3,000千円					
		臨時職員工数・経費	0.355人	604千円	0.313人	570千円	0.313人	587千円					
	全体事業費(A+B)		4,523千円	3,687千円	3,629千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	観光情報の発信、問い合わせ対応等により、東温市の観光名所を積極的にPRし、観光客誘致、交流人口を拡大させ、地域経済の活性化を図る必要があります。												
有効性	東温市への交流人口の拡大により、地域経済の活性化が図られます。												
達成度	坊っちゃん劇場等の民間施設の知名度も年々上昇はしていますが、目標は達成できておりません。交流人口拡大に向けた新たな取り組みを検討していきます。												
効率性	広域観光連携推進協議会などと連携し、全国的に有名な道後温泉に訪れる観光客を本市へ回遊させる宣伝活動等を実施しています。												
当面の課題	本市には魅力ある観光資源がありますが、まだまだ県(市)外から訪れる観光客に認知されていないため、宣伝活動の充実が必要です。また、本市の特徴を活かした新たな観光ルートの設定及び周知が必要です。												
改革計画	広域観光連携推進協議会や本市観光物産協会(商工会内)と連携を密にし、効果的な観光宣伝を企画し実施します。また、本市の魅力を活かした新たな観光ルートの開発に取り組めます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	本市には、四季を通じての豊富な資源等があるが、それらの活用した「観光ルート」が不足していると考えます。今までに蓄積したデータを活用し、観光物産協会等を巻き込んで、共に研究・開発に取り組んでください。また、広域観光推進(2市1町)の連携を強化し、松山市への観光客を、いかに誘致するかが重要であり、今後更に検討してください。												

No.	012	—	2008	事務事業名	観光宣伝事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	18年度	～	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	5 観光・レクリエーションの振興		主要施策	(1)観光振興体制の確立				
	事業の対象	県内外の観光客					根拠法令						
	事業の目的	最終的	市内観光地に対する認知度の向上、観光客誘致の促進、交流人口の拡大を図ります。				今年度						
	活動内容	①	観光キャラバン隊を編成し、観光PRキャンペーン活動				④						
		②	観光宣伝用資材の作成				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標		
		観光キャラバン活動	実施回数			回	目標	3	2	2	2		
実績							1	1					
観光入込み客数		観光客数			千人	目標	1,230	1,240	1,240	1,300			
						実績	1,227	1,221					
坊っちゃん劇場入場者数		年間入場者数			千人	目標	100	100	100	100			
	実績					69	80						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	812 千円	3,501 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,388 千円	1,174 千円	4,061 千円								
	計(A)	1,388 千円	1,986 千円	7,562 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.186 人	1,402 千円	0.174 人	1,051 千円	0.174 人	1,053 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.030 人	55 千円	0.030 人	56 千円					
	全体事業費(A+B)		2,790 千円	3,091 千円	8,671 千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	東温市の認知度及びイメージアップを図るため、行政が中心となり事業を進める必要があります。												
有効性	観光PRキャラバンを継続的に実施することにより、本市を知らない他県の人たちに、直接本市の魅力を伝えることができます。												
達成度	市外からの誘客促進効果が高く期待できる坊っちゃん劇場等を中心とした観光キャラバンを実施することにより、東温市への観光入込客数は、増加傾向にあります。												
効率性	広域観光連携推進協議会などと連携し、全国的に有名な道後温泉に訪れる観光客を本市へ回遊させる宣伝活動等を実施しています。												
当面の課題	観光キャラバンの実施により、どれくらい観光入込客数に影響があるのか検証が難しいですが、本市をPRするためには必要な事業であるため、より効果的で効率的に本市の魅力が伝わるような新たなPR活動が必要です。更に、本市の新たな観光ルートの設定が必要です。												
改革計画	西日本や九州をターゲットにした戦略的観光宣伝活動を検討し、更に広域観光連携推進協議会を活用した修学旅行の誘致のための体験学習メニューの作成や新たな観光ルートの設定を検討します。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	観光宣伝キャラバンを組む際、市単独で行なう場合と、広域連携事業で行う場合と、すみ分けを行い、より効率的に行うことが必要です。「坊っちゃん劇場」を核に進めていますが、23年度に実施したフォトコンテストの写真等を最大限に活用し、PRに努めてください。												

No.	012	—	2010	事務事業名	中小企業振興基本条例策定事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	産業創出課	係名	商工観光係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	sangyosoyutsu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	23年度～24年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	4 工業の振興		主要施策	(1)産業振興体制の確立				
	事業の対象	市民、市内事業者、市				根拠法令	中小企業基本法、中小企業憲章						
	事業の目的	最終的	平成24年度末に「東温市中小企業振興基本条例(仮称)」を策定します。			今年度	中小企業振興基本条例について基礎を学ぶとともに、市内全事業者の現状把握調査を実施します。						
	活動内容	①	東温市中小企業振興基本条例検討委員会を開催します。			④	中小企業等現状把握調査を実施します。						
		②	職員による先進地視察研修を実施します。			⑤							
		③	専門家を招聘し、検討委員会委員及び商工会会員に対しての研修会を開催します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	最終目標			
				条例策定事業のため、成果指標の設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	9,559千円	0千円	※平成23年度国・県支出金 市町緊急雇用創出事業費補助金 「中小企業等現状把握調査」 9,559,000円							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	1,297千円	659千円								
	計(A)	0千円	10,856千円	659千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.100人	604千円	0.100人	605千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.025人	46千円	0.025人	47千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	11,505千円	1,311千円								
一次評価者	商工観光係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現下の厳しい経済状況は、地域を疲弊させ、地域の中小企業等に大きなダメージを与えています。地域の発展には、中小企業等の存続・発展が不可欠であり、中小企業等が元気でなければ、地域は元気になりません。条例の策定は、本市中小企業等振興の意思表示の一つとして必要です。												
有効性	条例を策定することにより、中小企業はもとより、市民や行政内部に対しても、明確な意思表示をすることができます。また、様々な施策を具体化していくことも可能になります。												
達成度	条例を策定するため、市内の全事業者への現状把握調査を実施し、更に、検討委員会委員や市内事業者を対象とした条例についての研修会を行い、平成24年度末策定に向けて、取り組んでいます。												
効率性	愛媛県内の自治体で初となる取り組みです。愛媛大学、愛媛県中小企業家同友会、東温市商工会など、多くの関係団体の協力により、取り組んでいます。												
当面の課題	本市にとって、本当に必要とされる条例とするためには、事業者だけでなく、多くの市民の意見を取り入れる必要があります。												
改革計画	平成24年度10月に、市民を対象とした、シンポジウムを開催するとともに、市内事業者のPRフェアを同時に開催します。これにより、多くの市民に本条例について周知ができ、更に、市内の事業所の紹介もできます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	今回策定している中小企業振興基本条例は、理念条例であり、策定後、支援方法等をいかに反映していくかが重要と考えます。既存の協議会等を整理集約や発展して取り組んでいくことが重要と考えますので、次年度以降も視野に入れ、事業展開してください。												